

諮問「第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性」「(仮称)ミライ構想の方向性」のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造について



藤岡ライフ ~こどもからお年寄りまでが やたら元気なまち~

令和6年1月25日 藤岡地域会議

まちづくりの方向性

藤岡をこんなまちにしたい

① 藤岡を取り巻く環境
高齡化
・若い人たちが出ていく、戻、来ない
・まちの活気がなくなっていく

方向性のポイント

住民がずっと
元気で楽しく

若い人たちの
愛着形成

新しい人たちが 住みたくなる
住み続けたいなる魅力

① 100年人生、生きがいをもて暮らせるまち

- ・お年寄りになっても、やたら元気で楽しく暮らせるまち
- ・生きがいを持って暮らせるまち
- ・健康に特化したまち
- ・安心して住み続けられるまち



② 愛着・誇りの形成ができるまち

- ・住民全員があいさつできるまち
- ・ボランティアに手を挙げるまち
- ・今よりもより良くするために動き出すまち
- ・若者が戻、てくるまち



③ 多様なライフスタイルを尊重しあうまち

- ・住みたくなるまち
- ・子育てしやすいまち
- ・ペットと暮らしやすいまち
- ・暮らしてよいまち(ブランドメッセージ)



④ つながるまち

- ・拠点間と(他地域と)連携したまちづくり



⑤ 産業や観光が発展するまち

- ・自然の中の産業技術拠点(かつては豊田のベッドタウン)
- ・企業が進出しにくいと思える魅力あるまち
- ・観光で人がたくさん集まるまち



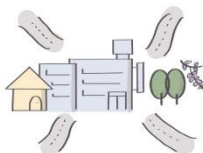
都市構造のイメージについて

心配

- ・中山間部の人口が誘導エリアにますます流出する可能性はないか
- ・藤岡地区が縮小していく懸念
- ・藤岡地区は通過地点、素通りするまち、空白地点
- ・過疎化が深刻になってから、空き屋バンクの対象地区になるようでは遅い

提案

- ・藤岡地区内の企業の従業員が定住できる仕掛けづくり
- ・足助と同じ「広域の生活拠点」となるべき
- ・藤岡地区においても、「生活、産業、移動、自然、防災」が一本となった都市構造を望む
- ・人口を増やすため、住宅や商業施設を誘致する



まちづくりのめざす姿・基本的な考え方

まちづくりで大切にしたいこと

系継承 - 発想の転換

① 人と人のつながりづくり

- ・心豊かな横のつながり
- ・「人と人」のつながり
- ・地域住民のつながり (こどもと高齢者とのふれあい)
- ・人が集まる場所を作る
- ・近助



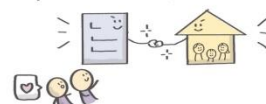
② 今あるものをいかす

- ・自然を生かしたまちづくり
- ・古いものを補い、あるものを生かす



③ かけ算で魅力創出

- ・職業の安定、子育て支援



深化 - 3つの「変える」を意識

① 未来を見据えて軸をつくる

- ・高齢者を軸とした、元気な高齢者の活躍
- ・お助け隊やボランティア活動が活発
- ・未来を先取り (元気な世代が活躍)
- ・何か軸を作り、それを誇れるまちにする
- ・高齢者がネット社会に見捨てられないための学ぶ場を作る



② 前向きに柔軟に考える

- ・枠にはめない考え方
- ・「規制があるからできないではなく、ならどうすればよいか」とできるように前向きに考える
- ・子育て中の親など、様々な世代からの声や意見を取り入れる



③ 自ら考え、動き、次世代に伝える

- ・どのような地域にしたいのか、住民自身が描き人々を導く
- ・不慣れた環境でも学べることを大人がこどもに伝える
- ・チェンジ・チャレンジ



3つの「変える」を実現するための

提案事項

市民への働きかけ

- ・よい考えだが、どのように市民の行動につなげるかが大切
- ・具現化させるために、どのような行動に至るのか、住民一人ひとりの意識を変えるための手立てはどうするかを検討してほしい

仕組み

- ・市民への浸透度の見える化をしてほしい
- ・地域住民が主体的に意見を言える仕組みづくり

新しい仕掛け

- ・見方を変える・気づくためには、他の地域のことを知る機会や様々な世代の話聞く機会を増やす